

令和3年度第1回仙台市科学館協議会会議録

日 時 令和3年7月16日（金） 10:30～11:30

場 所 仙台市科学館1階市民の理科室

出席委員 磯部裕子委員，伊藤仟佐子委員，加藤けんいち委員，河野裕彦委員，
庄子裕委員，菅井研二委員，高田淑子委員，田中真美委員，平吹喜彦委員，
松田佳歩委員（計10名）

欠席委員 なし

事務局 石川館長，温参事兼副館長兼事業係長，久米井主幹兼庶務係長，
西海枝主任指導主事，青沼指導主事，佐々木指導主事

議事要旨

1 開会

2 館長挨拶

3 会長挨拶

○河野会長が議長となり会議を進行

○議長より議事録署名人に加藤けんいち委員を指名

4 報告事項

(1) 令和3年度科学館特別展について

○佐々木指導主事から、令和3年度科学館特別展について、資料1により説明
(質問等)

○庄子委員

今年の夏休み、小学校では図書室は開放するがプールなどはやっておらず、子供たちはあまり出かけられない。そのような中、この「アリスのふしぎ体験ツアー」といったイベントは学校でも宣伝をしたいと思っている。

宣伝の方法として、ホームページに掲載しているということだが、子供たちはYoutubeに結構アクセスしているので、Youtubeで宣伝すると、より集客も効果が出ると思う。

○温副館長

新型コロナウイルス感染症拡大のこともあり、開催できるかどうかをギリギリまで検討したし、今回の広報も及び腰になった。資料1にも掲載している通り、今回は市政だより、ホームページ、学校ではポスターの掲示のみとした。今後、新型コロナウイルス感染症の収束状況が生じれば、スマホなどでも見られるような、より効果的なPRの方法を行っていききたい。

○加藤委員

今年度は例年の特別展と違った状況のなかで、どのぐらいの観客数を想定しているのか。例年の何割ぐらいだと、感染対策も含めて対応できるのか、その辺の説明

をいただきたい。

○温副館長

来館者間あるいは展示壁との距離を1メートル確保できるよう、特別展示室の同時入場者数を100人までとしているが、開催期間中に前回並みに5万人入っても、許容できる範囲に収まる。

入館待ちをして見学する時間が減ってしまう場合には、必要に応じて閉館時間を多少延長する柔軟な対応も想定の中に入れていく。

感染症対策としては、まず換気について、通常開けていない6か所の扉を開けて風通しをよくし、そこに工業用の強い扇風機を使って外に空気を送り出している。

展示物の配置については、例年は天井付近まできっちり仕切っていた壁を背丈より少し高いくらいにし、上からも換気ができるような構造にした。なお、会場内の対流がよくなるように展示物の配置を工夫している。また、特別展見学者の滞留時間が長くなるような工作教室は今回はとりやめた。

○河野会長

会場入口が折り返しとなっており、例えば10人ぐらいがまとまって来たような場合、流れが悪くなるのではないかと思うが、ここにはスタッフか誰かを配置するのか。

○佐々木指導主事

入口を含め展示室内には常時3名以上のスタッフを配置して、滞留等に備える。

○河野会長

人数の確認は、入口と出口で連絡を取り合いながら行うということか。

○温副館長

特別展入口と出口が近く、スタッフが連絡を取りやすい配置となっている。

○田中委員

同時入場者数100人を超えそうなお待ちいただくということだが、待つ人が多くなった場合、どのように待ってもらうのか。

○佐々木指導主事

100人を超えた場合については、展示室前にソーシャルディスタンスをとってもらいながら10組並んでもらう。10組を超えた場合には、3階エントランスの西側にプラスチックのチェーンに沿って列をつくって並んでもらう。それ以上になった場合は、チケット販売のときに、お待ちいただく時間が少々ございますというアナウンスをしながら対応することを想定している。

○田中委員

ずっとそこで待っているのも結構大変だと思う。次の方は何時間後といった時間を区切った案内はできないのか。

○佐々木指導主事

時間ごとに区切るということも考えたが、今回の特別展においては、長く見る方もいたり、すぐ見て帰られる方もいたりと入場後の時間に個人差があると考え、今回の形をとることにした。

○田中委員

様子を見ながら、出口から1組出たら入口から1組入れていくみたいなやりかたか。

○温副館長

100人になったところで入場を止めて出し入れをする。

スマホで予約というのも考えたが、今回はアナログで対応することとした。

○田中委員

ソーシャルディスタンスを十分取って待つていただくようお願いしたい。

○河野会長

何日かやってみれば、どの時間帯が混んで、どの時間帯が空くかが分かるので、そこでまた調整しながらやっていけばいいのではないか。

○田中委員

ホームページで、この時間は空いています、といった情報提供はしないのか。

○佐々木指導主事

科学館のホームページで、混雑状況を1時間ごと更新してお知らせする。

(2) 展示リニューアルの実施設計について

○青沼指導主事から、展示リニューアルの実施設計について、資料2により説明(補足説明)

○温副館長

資料4業務内容のところをご覧くださいと、国が示したコロナウイルスの感染症対策基本方針に沿って策定された博物館向けの対策ガイドラインがあり、当面それに準拠する形で仕様の中に組み込んでいる。

接触感染を防ぐためハンズオン展示は原則やらないが、展示の意図が伝わらない部分は例外的にやるという形である。

来館者の95%は小学生以下の子供とその保護者であり、例外的にハンズオン展示にせざるを得ないものもあると考えている。

基本設計では、維持管理のしやすさとか、修繕のしやすさというのは当初から考えていたが、消毒のしやすさ、接触感染を防ぐということも当分力を入れてやらざるを得ない。

来館者が学びに来て、遊びに来て、コロナに感染したという話にならないよう消毒等について、仕様の中に盛り込んであるということをご理解いただきたい。

それと業者の選定については、今回は、競争性を確保するという観点から、指名

競争入札という方式を取らせていただいている。

今後、実施設計について協議会からご意見をいただいて、手直しをしていきたいと考えている。

それから先ほど、会長からあった、河川は奥羽山脈から海岸線までとその先があるとのことのご意見についてだが、確かにその先は日本海溝まで繋がっているので、盛り込んでいく。

○河野会長

地震とかの問題も関わってくる。

○温副館長

今後も、こういったご提案・ご意見を伺いながらリニューアルについて検討をさせていただきます。

(3) その他

特になし

5 事務連絡

次回の開催日程については今回と同様にメールで日程調整させていただく。

協議会終了後、特別展の会場を案内するので参加いただきたい。

6 閉会

令和 3 年 8 月 20 日

議事録署名人

仙台市科学館協議会 会長

河野 裕彦 (印)

仙台市科学館協議会 委員

加藤 けん一 (印)